～マナーキッズプロジェクトフォーラム～
《マナーとルールは「人間力」の第一歩》

生きるための基礎を培う

第３回全国マナーキッズ®フォーラム 2010

「教育の品川」から発信する
―マナーキッズプロジェクトと「市民科」との接点―

マナーとルールをきちんと守る。それは「人間力」の第一歩である。そうした考えの下、私たちが、ＮＰＯ法人「マナーキッズ®プロジェクト」の活動を始めてからまもなく４年目を迎えます。

他方、小中学校で全国的に例をみない「市民科」の授業を展開している品川区教育委員会は、その導入の背景として「子どもの規範意識やマナー、公共心の低下」を挙げ、「将来にわたり教養豊かで品格のある人間形成を目指す」ことを狙いにしています。いずれも、私たちの活動方針と完全に合致するものです。

今回のフォーラムは、学校選択制や小中一貫教育を、地域との協働で進めるなど積極的に教育改革を進めている品川区を拠点に、マナーキッズ活動のさらなる広がりを模索する場としたいと考えます。

12:00 ～ 13:30　マナーキッズテニス教室小学校授業風景見学（アリーナ）（中学生がマナーキッズ教室の指導陣に加わるという初の試みを行う）（小笠原流礼法鈴木万亀子総師範保護者向け「家庭内の躾」講話含む）
13:45 ～ 13:50　主催者挨拶　田中日出男（NPO 法人マナーキッズプロジェクト理事長）
13:50 ～ 14:05　キーノート・スピーチ　若月秀夫（品川区教育委員会　教育長）
14:05 ～ 16:00　パネルディスカッション（ランチルーム、途中 10 間休憩）

「教育の品川」から発信する―マナーキッズプロジェクトと「市民科」との接点―

コーディネーター ●永井順國（政策研究大学院大学客員教授、NPO 法人マナーキッズプロジェクト副理事長）
パ　ネ　リ　ス　ト ●和氣正典（品川区教育委員会事務局指導課　小中一貫教育担当課長）
●佐藤勝（品川区立鈴ヶ森小学校校長）
●田中日出男（NPO 法人マナーキッツズプロジェクト理事長）
コメンテーター ●山本浩（法政大学教授、元 NHK アナウンサー、解説副委員長、NPO 法人マナーキッズプロジェクト顧問）
総　合　司　会 ：宮司正毅（国際協力機構客員専門員、NPO 法人マナーキッズプロジェクト副理事長）

◆開催日時：２０１０年３月２７日（土）　１２時から１６時００分まで
◆会　　場：品川区立小中一貫校八潮学園（東京都品川区八潮 5-11-2 電話 03-3799-1641）
◆主　　催：ＮＰＯ法人マナーキッズ®プロジェクト
◆協　　力：財団法人日本テニス協会
◆後　　援：文部科学省　読売新聞社　NHK　東京都教育委員会　品川区教育委員会　財団法人日本体育協会
◆協　　賛：三菱東京UFJ銀行　日本児童教育振興財団　三菱商事　YASKAWA　KDDI　第一学習社　YSC　SPORTS AUTHORITY　ANA　SYMONS

返信用ＦＡＸ：０３－６４２６－１５８０
ＴＥＬ０３－３３３９－６５３５　　参加費　無料
Ｅ－ｍａｉｌ：office365@mannerkids.or.jp
ＵＲＬ：http://www.mannerkids.or.jp/

ＪＲ「大井町」東口都バス「井９２八潮パークタウン行」
ＪＲ「品川」東口都バス「品９１八潮パークタウン行」
「八潮北」バス停より徒歩２分
りんかい線「品川シーサイド」より徒歩２０分
東京モノレール「大井競馬場」より徒歩１５分

参加申込書			
氏名			
団体・企業名			
役職名			
住所 〒			
ＴＥＬ		ＦＡＸ	
ｅ－ｍａｉｌ			
定員約 150 名、先着順に入場整理番号をご連絡します。			
所属名		所属名	
参加者氏名		参加者氏名	
所属名		所属名	
参加者氏名		参加者氏名	

事務局
〒 166-0002 東京都杉並区高円寺北３－２２－３ デルコホームズ５階
ＴＥＬ０３-３３３９-６５３５　ＦＡＸ０３-６４２６-１５８０

主催：特定非営利活動法人 マナーキッズ®プロジェクト

シンポジスト・コメンテーター・コーディネーター紹介

順不同・敬称略

若月　秀夫（わかつき　ひでお　品川区教育委員会　教育長）

都内小学校教諭から東京都教育庁、品川区教育委員会指導主事を経て都内小学校長。1994 年より品川区教育委員会指導課長、東京都教育庁主任指導主事等を歴任し、99 年より現職。中央教育審議会義務教育特別部会委員、教育再生懇談会委員を務める。

共著:「学校教育を変えよう」(自由国民社)、「品川区の『教育改革』何がどう変わったか」(明治図書)、編著:「学校大改革品川の挑戦」(学事出版)、「品川初『市民科』で変わる道徳教育」(教育開発研究所)

和氣　正典（わけ　まさのり　品川区教育委員会指導課小中一貫教育担当課長）

1998 年より教育委員会事務局勤務となり学務課でプラン 21 予算などを担当し、2004 年 4 月より指導課小中一貫教育主査、08 年 4 月から現職。小中一貫教育、市民科の立ち上げから、全国初のなる施設一体型小中一貫日野学園の開校など、小中一貫教育全般について行政職員の立場から推進してきた。共著：「検証　教育改革」（教育出版）

佐藤　勝（さとう　まさる　品川区立鈴ヶ森小学校　校長）

初任校は都立肢体不自由養護学校、その後都内中学校教員として二校に勤務する。1999 年に品川区立中学校に教頭として着任後、2008 年 4 月より現職に就く。進路指導・キャリア教育について研究を続け、現在全国中学校進路指導連絡協議会総務部長。文部科学省「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する意見交換会」委員

田中日出男（たなか　ひでお　NPO 法人マナーキッズプロジェクト理事長）

平成 8 年マナーキッズプロジェクトの「きっかけ」となった早稲田大学庭球部小学生テニス教室を開始。三菱化学株式会社常務取締役、江本工業株式会社取締役社長を経て、平成 16 年 4 月から財団法人日本テニス協会幼稚園・小学校マナーキッズテニスプロジェクトに携わる、前同プロジェクトディレクター、平成 19 年 6 月から NPO 法人マナーキッズプロジェクト理事長、インパクト・コンサルティング顧問。

山本　浩（やまもと　ひろし　法政大学教授・元ＮＨＫアナウンサー、解説副委員長）

2009 年 3 月ＮＨＫ退職、同年 4 月法政大学教授就任、スポーツ健康学部でコミュニケーション論、スポーツメディア論を講じる。ＮＨＫ解説の分野では、プロ野球問題、大相撲改革、選手強化、スポーツのプロ化、タレント発掘、サッカー構造論、スポーツ放送論などを範疇とした。現在、日本相撲協会生活指導部特別委員、日本サッカー協会W杯招致検討委員、著書:「W 杯のメディア学」< 共著 > 大修館書店、「メキシコの青い空」新潮社、< 対談 >「実況席のサッカー論」出版芸術社

永井順國（ながい　よりくに　政策研究大学院大学客員教授）

読売新聞社論説委員（教育・文化・ボランティアなど担当）、女子美術大学教授を経て現職。文部科学省・中央教育審議会臨時委員、文化審議会専門委員、学校法人調査運営委員会委員、日本私立学校振興・共済事業団運営審議会委員、独立行政法人日本青少年教育振興機構運営委員などを務めている。主な著書に、「学校をつくり変える－『崩壊』を超える教育改革」（小学館）、「危機の義務教育」（有斐閣）、「英国の『市民教育』」（日本ボランティア学習協会）などがある。

マナーキッズプロジェクトは、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法（小笠原流礼法鈴木万亀子総師範協力）を体験し、＜体・徳・知＞バランスのよい子どもを育てる NPO です。

後援　文部科学省、財団法人日本体育協会（マナーキッズスポーツ教室）

テニス、野球、サッカー、ラグビー、バスケット、バレー、ゴルフ、柔道、剣道、空手、相撲、音楽他で４万人参加。22 都道府県、84 小学校で体育・道徳関連授業に採用されております。